**＜1回目のお話＞教会はその体である**

◆**代表者による祈り**

◆**分かち合い**

周りの誰かが苦しみに遭ったり、病気にかかったことで胸が痛んだりしたことがあるなら、その経験を分かち合って下さい。

◆**御言葉を開いてみましょう**

エペソ人への手紙1:22-23

◆**御言葉を知る**

**教会、神の子どもたちの集まり**

イエス様が天に昇られて後、五旬節の日に聖霊様が降臨されて教会が誕生しました。教会とは、イエス様を救い主として信じ、神の子どもとなった者たちの集まりです。教会は体系的な組織を構成することもでき、美しい建物を所有することもできます。しかし、教会の本質は、組織や建物以前に、神の子どもたちの集まりにあります。つまり、「あなたは、生ける神の御子キリストです」（マタイ16:16）と告白して、救われた人々がなしている共同体が教会なんです。

教会を成した神の子どもたちは心を一つにして、神様を「アバ、父よ」と呼びます（ローマ8:15）。さらに、イエス様が再び来られてこの地に神の御国を完成される日を、心を一つにして待ち望みます（ローマ8:23）。そして、教会に集った神の子どもたちを、このような信仰へと導いていくのは聖霊様です（ローマ8:26）。だから、教会のすべての聖徒は、聖霊様の導きに従って一つとなり、神様を「父よ」と呼びながら礼拝を捧げ、イエス様が再び来られて万物を回復する日を期待しなければなりません。

**教会、キリストを頭とする体**

教会はキリストを頭とする体です（エペソ1:22-23）。だから教会は頭なるキリストに従い、導きを受けなければなりません。

教会がキリストの体ならば、教会のすべての聖徒たちはその体の器官です（ローマ12:25）。実際、私たちの体の器官がそれぞれ役割を持っているように、神様はキリストの体の器官である聖徒たちに、それぞれ役割を与えました（コリントⅠ12:18）。それで、すべての聖徒は自分に委ねられた場所で教会に仕えることとなります。ところが、仕える場所に軽重はありません。私たちの体のすべての器官が大事であるように、聖徒に委ねられたすべての仕える場所は尊いのです（コリントⅠ12:21-24）。

様々な器官が一つの体に属するように、教会のすべての聖徒は一つです（コリントⅠ12:20）。一つの器官が栄光を受ければすべての器官が栄光を受け、一つの器官が苦しめばすべての器官が苦しみを受けます（コリントⅠ12:26）。従って、私たちは一つの体に属している兄弟姉妹のために祈らなければなりません。兄弟姉妹に良いことがあれば共に喜び、悪いことがあれば共に泣きます。神様は、教会が一つとなっている姿を喜ばれます。

**教会、神様が統治される集まり**

イエス様が再び来られれば、この地に神様の御国が完全に臨みます。つまり、イエス様の再臨によって、サタンが縛られ、神様の統治がこの地に完全になされます。しかし、このような神様の統治が、イエス様の再臨以降にのみ成されるわけではありません。私たちはイエス様が再臨される前にも、この地で神様が臨在される教会を通して神様の統治を体験することができます。

神様が統治される集まりである教会を、私たちは次のように特徴づけることができます。第一に、教会は聖なる場所です（エペソ2:22）。聖なる場所である教会で聖徒たちは聖なる神様に出会い、聖なる聖霊によって満たされる体験をします。第二に、教会は「真理の柱また土台」です（テモテⅠ3:15）。つまり教会は有限かつ不完全な世の知識ではない、神様の真理の御言葉が宣言される場所です。第三に、教会は、ハデスの門が打ち勝てない場所です（マタイ16:18）。神様は、主が再び来られるまで、教会を悪しき権勢から守り下さいます。さらに、神様は、神様が統治される集まりである教会を通して、世の中に神様の統治が実現することを願っておられます。教会は全地に神様の統治が臨むように最善を尽くして世を愛し、仕えなければなりません。

◆**人生の中へ**

１．教会は、ただ一人の神様を「アバ、父よ」と呼ぶ家族共同体です。ですから、教会を構成する聖徒たちは、互いを家族のように愛し、尊ばなければなりません。あなたが教会において、家族からのみ受けられそうな慰めと愛を受けたことがあれば分かち合って下さい。

₋金執事は何年か前に交通事故に遭って病院に一か月間入院していました。当時、夫は会社に出勤し、子どもたちは学校に行っていたので、大部分の時間を一人で病院で過ごさなければなりませんでした。感謝なことに、区域の聖徒たちがよく訪ねて来てくれて、看護をしてくれたり、話し相手になったりしてくれながら助けてくれました。そして、教会に行けない金執事のために教区長の先生が一週間に一度病院を訪問して礼拝を捧げてくれました。金執事はあの時、教区長先生と区域の聖徒から受けた愛を未だに忘れることができません。

2.教会のすべての聖徒は一つの体に属している器官です。だから誰かが栄光を受ければ、みなが栄光を受け、誰かが苦しみに遭えば、みなが苦しみを受けます。区域の聖徒みんなが互いの近況を分かち合い、誰かに良いことがあったなら共に喜び、誰かに解決すべき問題があるなら、共に痛みに共感して祈る時間を持ちましょう。

◆**決断**

·　信じる者たちと共に集って礼拝を捧げることに尽力します。

·　良いことがあった聖徒と共に喜び、悲しむ聖徒と共に悲しみます。

·　聖霊様の働きが教会に豊かに臨むように祈ります。

◆**今日の祈り**

神様、私たちに信仰の共同体を下さって感謝します。常に集って神様を礼拝し、聖霊様が豊かに臨在される教会となるよういつも祈ります。全ての聖徒をキリストの体の器官として呼んで下さった神様。互いに愛し、尊重する私たちとなりますように助けて下さい。共に喜び、共に悲しむ教会そして区域となりますように。イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

以上の内容はヨイド純福音教会区域礼拝テキストから抜粋、翻訳、再構成したものです。